

# 声を届ける回路

## Scientists and/as Citizens



Beid . All Rights Reserved

「自分は研究者だから政治はわからない」が、「政治家や文科省の学術政策が間違っている」という発言は大学人からよく聞かれる台詞である。しかし、逆に自分の専門分野について無知な人から、「あなたの研究は間違っている」と発言をされた場合に、平静を保っていられる研究者はどの程度いるだろうか。

大学と学術を取り巻く環境の悪化はとどまる気配がない。大学も学術も社会に埋め込まれている存在であるのだから、その環境を変える手続きは政治である。しかし、大学人の多くは政治を忌避、あるいは無視しているのが現状だろう。ただ不平不満を唱えるだけで終わるのではなく、正当な手続きで学術や大学をとりまく環境を変え、研究を社会に還元するために、われわれはまず学ぶことから始めねばならない。そこで本シンポジウムでは、講演者にそれぞれの視点から、学術と政治について講演頂き、政治が学術と大学にもたらせること、学術と大学が社会に貢献できることについて理解を深めたい。パネルディスカッションでは、研究者と政治をつなぐ回路と、社会と大学をつなぐ回路を機能させるために、われわれにできることを議論したい。

### 第1部 講演 13:00-15:00



**大草 芳江**  
(NPO法人natural science理事)  
知的好奇心がもたらす  
心豊かな社会の創造にむけて  
～科学・技術教育の実践と今後の活動方針～



**標葉 隆馬**  
(大阪大学・社会技術共創研究センター准教授)  
科学技術・学術研究の  
社会的基盤と科学技術政策



**川口 康平**  
(香港科技大学ビジネススクールAssistant Professor)  
大学改革の『失敗』?  
:どう検証すればよいのか

### 第2部 パネルディスカッション 15:15-16:45

「回路をつなぐために」

パネリスト:

大草芳江、標葉隆馬、川口康平、当真賢二(FRIS准教授)

ファシリテーター:

田村光平(FRIS助教)

2020. 11 / 7 Sat.  
13:00-16:45

開催方法：オンライン会議システム (Zoom)

Joint Workshop 参加登録はこちらから  
<https://forms.gle/HwC7gjW9AwQ7iLTt7>

